



[講師略歴]

土屋裕睦(つちや ひろのぶ) 大阪体育大学 スポーツ科学部 教授

1964年5月岐阜県生まれ。筑波大学大学院修了後、復旦大学へ留学。帰国後、筑波大学文部技官、助手を経て現職。プロスポーツチーム(野球・サッカー・ラグビー・卓球)や日本代表チームにてメンタルトレーニング指導を約30年にわたり担当。パリ2024オリンピック大会には日本選手団の安全・安心を守るウェルフェアオフィサーとして帯同。公認心理師、スポーツメンタルトレーニング上級指導士。選手の心理相談の他、コーチデベロッパー(コーチのコーチ)として公認指導者育成事業にも尽力。専門はスポーツ心理学、スポーツカウンセリング。

[社会活動]

日本スポーツ心理学会理事長、日本体育・スポーツ・健康学会監事。文部科学省「スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議」委員、日本オリンピック委員会アントラージュ部会員・科学サポート部門員、日本スポーツ協会「NO!スポハラ」実行委員。地域では教育委員や部活動のあり方に関する有識者会議委員等を歴任。大阪体育大学なぎなた部部長、剣道部コーチ(七段)。

[テーマ設定の背景 ～ 土屋先生からのメッセージ]

パリ2024オリンピック大会において我がTEAM JAPANは目標に掲げた20の金メダルを獲得し、世界3位と躍進しました。私は長年トップアスリートのメンタル指導に携わってきましたが、特に心理学などスポーツ科学を取り入れたコーチングの進歩は目覚ましく、そのことが国際競技力の向上にもつながっています。一方、不適切指導に関わる相談窓口への通報は過去最多となっており、スポハラの根絶が課題となっていますが、そもそも何がハラスメントで、どうすれば予防できるのかが分かりづらいとも言われます。私は、剣道を学ぶ中で、この問題解決の鍵が、剣道修練ならびに指導の心構えに明記されていることに気づきました。そこで本研修会では、武道ならではの強みを踏まえながら、面白くてためになり、かつ明日からの実践に役立つようなコーチング方法を探りたいと思います。新しい時代にふさわしいコーチングについて、一緒に学びましょう。どうぞよろしくお願いいたします。